

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	5 年間（2013年12月18日～2018年12月17日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの受益証券を通じて、相対的に配当利回りの高いスイス株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10% 以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ・スイス
高配当株ツインα
（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第17期（決算日	2015年7月17日）
第18期（決算日	2015年8月17日）
第19期（決算日	2015年9月17日）
第20期（決算日	2015年10月19日）
第21期（決算日	2015年11月17日）
第22期（決算日	2015年12月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）」は、このたび、第22期の決算を行ないました。

ここに、第17期～第22期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			スイス S M I 指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 入 組 比 率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 3 月17日)	10, 161	110	2. 7	10, 359	3. 6	116. 19	△ 0. 0	0. 0	97. 8	75, 885
2 期末 (2014年 4 月17日)	10, 355	110	3. 0	10, 610	2. 4	116. 02	△ 0. 1	0. 0	99. 0	83, 287
3 期末 (2014年 5 月19日)	10, 274	110	0. 3	10, 867	2. 4	113. 90	△ 1. 8	0. 0	98. 9	84, 767
4 期末 (2014年 6 月17日)	10, 186	110	0. 2	10, 818	△ 0. 5	113. 64	△ 0. 2	0. 0	98. 9	86, 631
5 期末 (2014年 7 月17日)	10, 063	110	△ 0. 1	10, 717	△ 0. 9	113. 19	△ 0. 4	0. 0	98. 6	88, 350
6 期末 (2014年 8 月18日)	9, 781	110	△ 1. 7	10, 417	△ 2. 8	113. 31	0. 1	0. 0	99. 2	88, 289
7 期末 (2014年 9 月17日)	9, 979	110	3. 1	11, 121	6. 8	114. 96	1. 5	0. 0	99. 1	92, 509
8 期末 (2014年10月17日)	8, 938	110	△ 9. 3	9, 993	△ 10. 1	112. 87	△ 1. 8	0. 0	99. 6	83, 685
9 期末 (2014年11月17日)	9, 904	110	12. 0	11, 898	19. 1	121. 46	7. 6	0. 0	99. 3	93, 342
10期末 (2014年12月17日)	9, 749	110	△ 0. 5	11, 764	△ 1. 1	121. 73	0. 2	0. 0	99. 0	91, 827
11期末 (2015年 1 月19日)	9, 483	110	△ 1. 6	11, 804	0. 3	135. 99	11. 7	0. 0	99. 0	88, 078
12期末 (2015年 2 月17日)	9, 332	110	△ 0. 4	12, 156	3. 0	126. 98	△ 6. 6	0. 0	99. 0	84, 390
13期末 (2015年 3 月17日)	9, 150	110	△ 0. 8	12, 222	0. 5	120. 42	△ 5. 2	0. 0	99. 2	81, 454
14期末 (2015年 4 月17日)	9, 416	110	4. 1	12, 872	5. 3	124. 65	3. 5	0. 0	99. 4	82, 099
15期末 (2015年 5 月18日)	9, 507	110	2. 1	13, 053	1. 4	130. 40	4. 6	0. 0	99. 0	80, 624
16期末 (2015年 6 月17日)	9, 452	110	0. 6	13, 043	△ 0. 1	132. 41	1. 5	0. 0	99. 1	77, 100
17期末 (2015年 7 月17日)	9, 359	110	0. 2	13, 481	3. 4	129. 71	△ 2. 0	0. 0	99. 1	74, 066
18期末 (2015年 8 月17日)	9, 102	110	△ 1. 6	13, 068	△ 3. 1	127. 25	△ 1. 9	0. 0	99. 3	69, 542
19期末 (2015年 9 月17日)	8, 457	110	△ 5. 9	12, 115	△ 7. 3	124. 29	△ 2. 3	0. 0	99. 3	62, 874
20期末 (2015年10月19日)	8, 495	110	1. 8	11, 994	△ 1. 0	125. 24	0. 8	0. 0	99. 1	59, 961
21期末 (2015年11月17日)	8, 448	110	0. 7	11, 709	△ 2. 4	122. 11	△ 2. 5	0. 0	99. 2	58, 130
22期末 (2015年12月17日)	8, 343	110	0. 1	11, 661	△ 0. 4	123. 35	1. 0	0. 0	98. 6	55, 573

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) スイス S M I 指数 (円換算) は、スイス S M I 指数 (現地通貨ベース) のデータに基づき円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

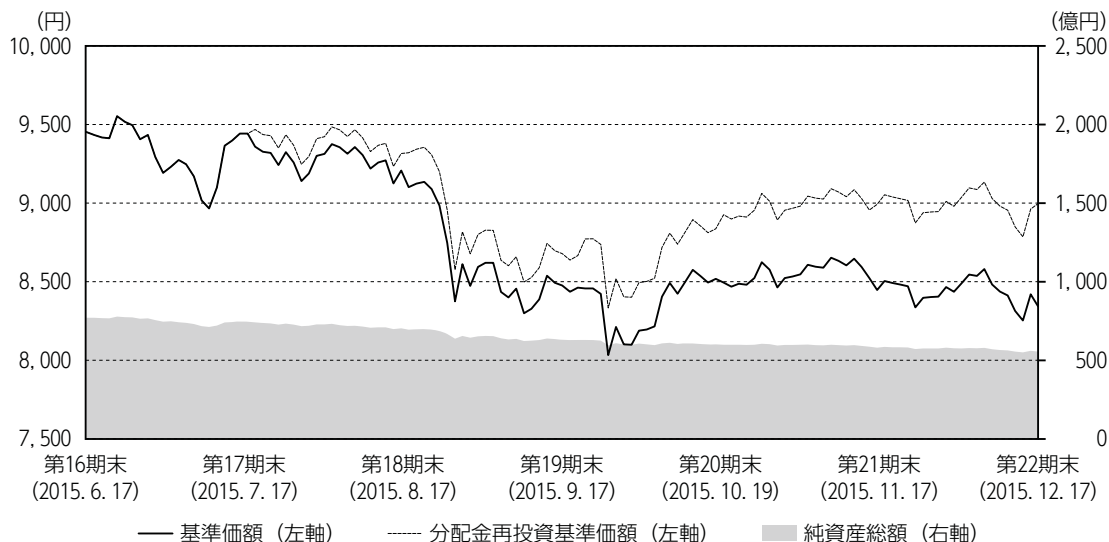
(注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第17期首：9,452円

第22期末：8,343円（既払分配金660円）

騰落率：△4.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資した結果、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドについては、スイス株式への投資と株式指数および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、保有するスイス株式の株価が上昇したことはプラスに寄与しましたが、スイス・フランが対円で下落したことがマイナスとなり、下落しました。オプション取引は、株式指数および通貨のオプションともにプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		スイス S M I 指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 比 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第17期	(期 首) 2015年 6 月17日	円 9,452	% —	13,043	% —	円 132.41	% —	% 0.0	% 99.1
	6 月末	9,293	△ 1.7	12,886	△ 1.2	132.24	△ 0.1	0.0	99.5
	(期 末) 2015年 7 月17日	9,469	0.2	13,481	3.4	129.71	△ 2.0	0.0	99.1
第18期	(期 首) 2015年 7 月17日	9,359	—	13,481	—	129.71	—	0.0	99.1
	7 月末	9,313	△ 0.5	13,239	△ 1.8	128.21	△ 1.2	0.0	99.3
	(期 末) 2015年 8 月17日	9,212	△ 1.6	13,068	△ 3.1	127.25	△ 1.9	0.0	99.3
第19期	(期 首) 2015年 8 月17日	9,102	—	13,068	—	127.25	—	0.0	99.3
	8 月末	8,621	△ 5.3	12,188	△ 6.7	126.26	△ 0.8	0.0	99.1
	(期 末) 2015年 9 月17日	8,567	△ 5.9	12,115	△ 7.3	124.29	△ 2.3	0.0	99.3
第20期	(期 首) 2015年 9 月17日	8,457	—	12,115	—	124.29	—	0.0	99.3
	9 月末	8,100	△ 4.2	11,300	△ 6.7	123.56	△ 0.6	0.0	99.7
	(期 末) 2015年10月19日	8,605	1.8	11,994	△ 1.0	125.24	0.8	0.0	99.1
第21期	(期 首) 2015年10月19日	8,495	—	11,994	—	125.24	—	0.0	99.1
	10月末	8,534	0.5	12,031	0.3	122.24	△ 2.4	0.0	99.8
	(期 末) 2015年11月17日	8,558	0.7	11,709	△ 2.4	122.11	△ 2.5	0.0	99.2
第22期	(期 首) 2015年11月17日	8,448	—	11,709	—	122.11	—	0.0	99.2
	11月末	8,405	△ 0.5	11,788	0.7	119.17	△ 2.4	0.0	99.7
	(期 末) 2015年12月17日	8,453	0.1	11,661	△ 0.4	123.35	1.0	0.0	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○スイス株式市況

スイス株式市況は下落しました。第17期首は、ギリシャへの金融支援をめぐる債権団との交渉の行方が注目される中、ギリシャが支援の条件となる財政緊縮策の受け入れ是非を問う国民投票を決定したことから、スイス株式市況は弱含みの展開で始まりました。2015年7月に入り、ギリシャ支援協議が再開し支援が決定したことで市場に安心感が広がり、スイス株式市況は上昇しましたが、8月下旬には、中国の人民元切下げ発表をきっかけに中国の景気減速を受けた世界経済の先行き懸念が高まったほか、ギリシャ首相の辞任なども重なり、リスク回避の動きが強まったことでスイス株式市況も下落しました。9月下旬に発覚したドイツ大手自動車メーカーの排ガス不正問題などもスイス株式市況の重しとなりました。10月以降はECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待などが下支えし、11月13日に発生したパリ同時テロによる影響も一時的なものにとどまり、スイス株式市況は12月のECB理事会開催に向けて緩やかな上昇基調となりました。その後12月3日に発表されたECBの量的金融緩和策の内容が予想ほどの規模とならなかったことから市場に失望感が広がり、原油安の進行も影響してスイス株式市況は再び下落しました。

なお、当ファンドの現物株式ポートフォリオは上昇しました。

○スイス株式指数オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は、11.7%から30.9%の広いレンジでの推移となりました。第17期首、17%台で始まったインプライド・ボラティリティは、ギリシャ債務問題に対する懸念などからスイス株式市況が下落したことを受けて上昇し、2015年6月末には21%台まで上昇しました。7月に入り、ギリシャ支援協議の進展などを受けてインプライド・ボラティリティは低下に転じ、当期間中の最低値となる11.7%まで低下しました。8月下旬には、世界経済の先行き懸念が高まったことからインプライド・ボラティリティは急上昇し、当期間中の最大値となる30.9%をつけました。ECBによる量的金融緩和への期待などからリスク回避の動きが後退すると、インプライド・ボラティリティは低下に転じました。第22期末にかけては、パリ同時テロやトルコによるロシア軍機撃墜などによる地政学リスクの高まりや、予想を下回るECBの金融緩和策に対する失望感などを背景にインプライド・ボラティリティは上昇し、18.2%をつけて第22期末を迎えました。

○為替相場

スイス・フランの対円為替レートは下落しました。第17期首、132円台でスタートしたスイス・フラン円相場は、ギリシャ債務支援問題などが重しとなって下落基調となりました。ギリシャ支援協議の進展への期待などから反発する局面もありましたが、欧州での追加金融緩和への期待などを背景に

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

下落が続き、2015年9月初めにはフランは122円台まで下落しました。その後は、欧州の金利の上昇や米国での利上げ見送り、世界的な株価上昇などを背景に、フランは10月半ばに125円台まで回復しました。しかし、ドラギＥＣＢ総裁が追加金融緩和について示唆したことを受けて再び下落基調となり、12月のＥＣＢを控えて一段の金融緩和への期待が高まる中、11月末には119円台まで下落しました。12月のＥＣＢでは、決定された追加の金融緩和が事前予想ほどの規模ではなかったことからフランを買い戻す動きが広がり、123円台まで戻して第22期末を迎えました。

○スイス・フラン／円為替オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティは、8.1%から14.1%のレンジでの推移となりました。第17期首、12%台でスタートしたインプライド・ボラティリティは、ギリシャ債務問題の先行き不透明感などを背景に徐々に上昇し、2015年7月には当期間中の最大値となる14.1%まで上昇しました。その後、スイス・フランは下落が続いたものの、緩やかな動きだったことからインプライド・ボラティリティは低下基調となりました。8月に当期間中の最低値となる8.1%まで低下したインプライド・ボラティリティは、中国人民元の切下げや世界同時株安などを受けてフラン円相場の変動が大きくなったことから再び上昇し、9月半ばには12%前後まで上昇しました。その後も、ＥＣＢの追加金融緩和への期待からフランの下落は続きましたが、緩やかな推移となったことからインプライド・ボラティリティは低下し、8.2%で第22期末を迎えました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

スイス経済は、国内消費は堅調な推移をみせており、輸出国であることから今後も世界経済の回復から恩恵を受けるものと期待されます。スイス・フラン高の進行がスイス企業の業績に与える影響が懸念される一方で配当金の水準は安定しており、その引き上げも期待されることから、債券と比べた株式の高い利回りが投資家にとって魅力となり、スイス株式市況の支援材料になるものと思われます。またスイス企業は、成長企業でありながらも利益率の高さや健全なバランスシートを基盤として市場の変動に左右されにくい体質を有している企業が多く、原油価格の変動などにも影響を受けにく

いものとみられます。スイス企業は、今後、変動の大きな世界市場においても高い競争力を維持するものと期待されます。スイス・フランは、米ドルやユーロに対し割高な水準にあると考えられ、中長期的には調整されていく見込みですが、短期的には海外企業の買収機会を拡大する助けにもなると考えられます。以上の環境を踏まえ、今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないます。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっておりま

ポートフォリオについて

○当ファンド

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

○UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

業種構成は、当ファンドの現物株式ポートフォリオのベンチマークであるS P I（スイス・パフォーマンス指数）に対して、金融や素材、資本財・サービス、情報技術をオーバーウエートで推移させた一方で、生活必需品をアンダーウエートで推移させました。個別銘柄では、高級フレグランスや飲料など消費者向け製品をメーカーに販売するGIVAUDAN、金融サービス会社のCEMBRAやVALIANT、保険会社のBALOISE、電力・自動化テクノロジー会社のABBなどをオーバーウエートで推移させた一方で、医薬品会社のNOVARTIS、建材メーカーのHOLCIM、食品加工会社のNESTLE、製薬会社ROCHEなどをアンダーウエートで推移させました。

また、スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

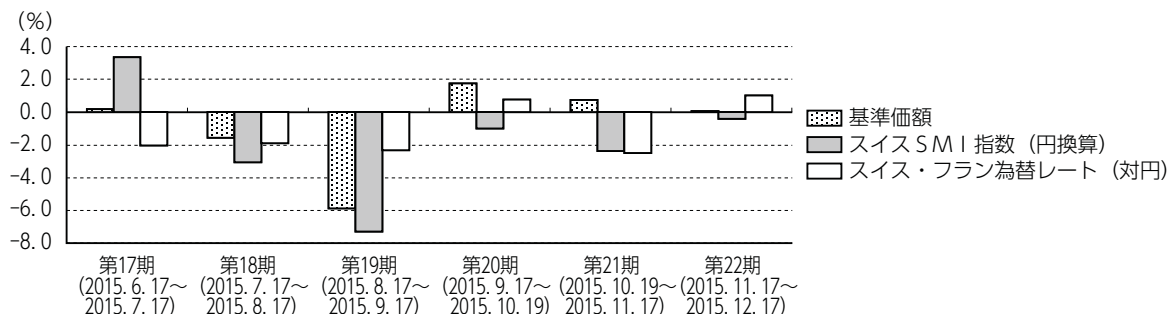
○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第17期から第22期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ110円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2015年6月18日 ～2015年7月17日	2015年7月18日 ～2015年8月17日	2015年8月18日 ～2015年9月17日	2015年9月18日 ～2015年10月19日	2015年10月20日 ～2015年11月17日	2015年11月18日 ～2015年12月17日
当期分配金（税込み）（円）	110	110	110	110	110	110
対基準価額比率（％）	1.16	1.19	1.28	1.28	1.29	1.30
当期の収益（円）	110	106	110	110	110	110
当期の収益以外（円）	—	3	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	601	598	608	608	623	632

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	184.64円	106.19円	119.73円	110.33円	124.52円	118.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	172.50	176.84	181.38	184.27	186.01	189.99
(d) 分配準備積立金	354.15	425.00	417.15	424.07	422.74	433.57
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	711.30	708.04	718.26	718.68	733.29	742.53
(f) 分配金	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	601.30	598.04	608.26	608.68	623.29	632.53

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

経済成長を下支えするため金融緩和の動きがグローバルに広がっており、その効果が表れ始めています。欧州では、ユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）が景況の改善・悪化の節目である50を上回る状況が続いており、足元では数年ぶりの高水準となるなど、景気回復の兆しが確認されています。失業率は低下基調にあることから、今後の消費活動を下支えするものと考えられます。引き続きECBは、緩和的な金融政策により景気をサポートすると予想されます。米国では、2015年12月に約9年ぶりとなる利上げに踏み切りました。今後の利上げペースは緩やかなものになると予想されますが、米ドルに対してユーロ安やスイス・フラン安が進むことは、欧州やスイスの企業にとっては業績の支援材料となります。米国経済については、堅調な国内消費に支えられ、回復基調が続くことが見込まれます。中国に関しては、経済の構造改革によって経済成長がこれまでと比べて減速する可能性もありますが、大きく悪化する可能性は低いとみています。

スイス経済は、国内消費が堅調な推移をみせる中、輸出国であることから今後も世界経済の回復からも恩恵を受けるものと期待されます。またスイス市場は、原油価格から直接的な影響を受けないため、原油安により業績が下方修正される可能性は低いといえます。加えて、景況感の改善や企業の高い現金保有率を背景にスイス企業においてもM&A（企業の合併・買収）の動きが続くことが想定され、こうした活動に支えられる形で、2016年のスイス株式市況は緩やかながらも堅調に推移することが期待されます。米国の金融政策が利上げサイクルに入り、市場では不透明感が依然として残っていることから、短期的には市況の変動が大きくなる可能性もありますが、そうした調整局面を長期的な観点から魅力的な銘柄を組み入れる好機と捉え、今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

また、スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないます。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっています。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	(2015. 6. 18～2015. 12. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	58円	0. 660%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,755円です。
(投信会社)	(19)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0. 432)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	58	0. 662	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年 6 月18日から2015年12月17日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	74,065.049	6,111,294	221,633.435	18,320,000

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年 6 月18日から2015年12月17日まで)

第 17 期 ～ 第 22 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND (ケイマン諸島)	221,633.435	18,320,000	82

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第17期～第22期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年 6 月18日から2015年12月17日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期					
	買付額等 A	うち利 害関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利 害関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	15,438	1,500	9.7	—	—	—
コール・ローン	489,874	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第17期～第22期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 22 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	690, 947. 669	54, 822, 551	98. 6

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月17日現在

項 目	第 22 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	54, 822, 551	96. 8
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	3, 002	0. 0
コール・ローン等、その他	1, 810, 094	3. 2
投資信託財産総額	56, 635, 648	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第16期末	第 22 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2, 996	2, 996	3, 002

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月17日)、(2015年8月17日)、(2015年9月17日)、(2015年10月19日)、(2015年11月17日)、(2015年12月17日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
(A) 資産	75, 181, 740, 349円	70, 755, 793, 869円	64, 035, 683, 688円	60, 971, 222, 252円	59, 107, 896, 797円	57, 035, 648, 313円
コール・ローン等	1, 791, 666, 505	1, 725, 246, 153	1, 594, 314, 741	1, 536, 839, 525	1, 420, 137, 557	1, 410, 094, 359
投資信託受益証券 (評価額)	73, 387, 072, 046	69, 027, 545, 918	62, 438, 367, 149	59, 431, 380, 929	57, 684, 757, 442	54, 822, 551, 856
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	3, 001, 798	3, 001, 798	3, 001, 798	3, 001, 798	3, 001, 798	3, 002, 098
未収入金	—	—	—	—	—	800, 000, 000
(B) 負債	1, 115, 633, 968	1, 212, 801, 060	1, 161, 267, 788	1, 009, 972, 000	977, 631, 598	1, 461, 709, 136
未払金	—	—	—	—	—	400, 000, 000
未払収益分配金	870, 568, 892	840, 411, 473	817, 837, 134	776, 391, 715	756, 880, 259	732, 735, 175
未払解約金	163, 464, 851	290, 996, 848	269, 836, 665	162, 358, 221	157, 231, 700	265, 603, 688
未払信託報酬	81, 430, 360	81, 047, 283	73, 077, 915	70, 519, 756	62, 643, 481	62, 318, 303
その他未払費用	169, 865	345, 456	516, 074	702, 308	876, 158	1, 051, 970
(C) 純資産総額 (A - B)	74, 066, 106, 381	69, 542, 992, 809	62, 874, 415, 900	59, 961, 250, 252	58, 130, 265, 199	55, 573, 939, 177
元本	79, 142, 626, 616	76, 401, 043, 059	74, 348, 830, 367	70, 581, 065, 016	68, 807, 296, 306	66, 612, 288, 716
△ 次期繰越損益金	5, 076, 520, 235	△ 6, 858, 050, 250	△ 11, 474, 414, 467	△ 10, 619, 814, 764	△ 10, 677, 031, 107	△ 11, 038, 349, 539
(D) 受益権総口数	79, 142, 626, 616□	76, 401, 043, 059□	74, 348, 830, 367□	70, 581, 065, 016□	68, 807, 296, 306□	66, 612, 288, 716□
1万口当り基準価額 (C/D)	9, 359円	9, 102円	8, 457円	8, 495円	8, 448円	8, 343円

* 第16期末における元本額は81, 569, 557, 559円、当作成期間（第17期～第22期）中における追加設定元本額は3, 577, 426, 127円、同解約元本額は18, 534, 694, 970円です。

* 第22期末の計算口数当りの純資産額は8, 343円です。

* 第22期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11, 038, 349, 539円です。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■損益の状況

第17期	自2015年 6月18日	至2015年 7月17日	第19期	自2015年 8月18日	至2015年 9月17日	第21期	自2015年10月20日	至2015年11月17日
第18期	自2015年 7月18日	至2015年 8月17日	第20期	自2015年 9月18日	至2015年10月19日	第22期	自2015年11月18日	至2015年12月17日
項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期		
(A) 配当等収益	1,542,898,439円	892,594,366円	963,449,603円	830,955,448円	919,647,933円	854,977,834円		
受取配当金	1,542,866,806	892,552,510	963,416,199	830,925,372	919,623,370	854,952,123		
受取利息	31,633	41,856	33,404	30,076	24,563	25,711		
(B) 有価証券売買損益	△ 1,324,599,858	△ 1,925,478,837	△ 4,846,110,139	293,869,570	△ 424,494,269	△ 761,544,545		
売買益	85,344,446	34,607,863	163,334,674	363,178,685	12,155,178	16,527,728		
売買損	△ 1,409,944,304	△ 1,960,086,700	△ 5,009,444,813	△ 69,309,115	△ 436,649,447	△ 778,072,273		
(C) 信託報酬等	△ 81,600,225	△ 81,222,874	△ 73,248,533	△ 70,705,990	△ 62,817,331	△ 62,494,115		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	136,698,356	1,114,107,345	3,955,909,069	1,054,119,028	432,336,333	30,939,174		
(E) 前期繰越損益金	△ 4,625,680,847	△ 5,128,111,305	△ 6,826,037,759	△ 10,939,515,260	△ 10,353,234,416	△ 10,249,618,451		
(F) 追加信託差損益金	283,031,148	224,579,873	125,369,495	41,973,183	747,235	△ 86,935,087		
(配当等相当額)	(1,365,216,970)	(1,351,105,841)	(1,348,546,383)	(1,300,621,024)	(1,279,921,509)	(1,265,575,377)		
(売買損益相当額)	(△ 1,082,185,822)	(△ 1,126,525,968)	(△ 1,223,176,888)	(△ 1,258,647,841)	(△ 1,279,174,274)	(△ 1,352,510,464)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,205,951,343	△ 6,017,638,777	△ 10,656,577,333	△ 9,843,423,049	△ 9,920,150,848	△ 10,305,614,364		
(H) 収益分配金	△ 870,568,892	△ 840,411,473	△ 817,837,134	△ 776,391,715	△ 756,880,259	△ 732,735,175		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,076,520,235	△ 6,858,050,250	△ 11,474,414,467	△ 10,619,814,764	△ 10,677,031,107	△ 11,038,349,539		
追加信託差損益金	283,031,148	224,579,873	125,369,495	41,973,183	747,235	△ 86,935,087		
(配当等相当額)	(1,365,216,970)	(1,351,105,841)	(1,348,546,383)	(1,300,621,024)	(1,279,921,509)	(1,265,575,377)		
(売買損益相当額)	(△ 1,082,185,822)	(△ 1,126,525,968)	(△ 1,223,176,888)	(△ 1,258,647,841)	(△ 1,279,174,274)	(△ 1,352,510,464)		
分配準備積立金	3,393,641,497	3,218,054,856	3,173,833,861	2,995,510,109	3,008,770,126	2,947,872,468		
繰越損益金	△ 8,753,192,880	△ 10,300,684,979	△ 14,773,617,823	△ 13,657,298,056	△ 13,686,548,468	△ 13,899,286,920		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,461,298,260円	811,371,546円	890,201,117円	778,725,045円	856,830,731円	792,483,839円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,365,216,970	1,351,105,841	1,348,546,383	1,300,621,024	1,279,921,509	1,265,575,377
(d) 分配準備積立金	2,802,912,129	3,247,094,783	3,101,469,878	2,993,176,779	2,908,819,654	2,888,123,804
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,629,427,359	5,409,572,170	5,340,217,378	5,072,522,848	5,045,571,894	4,946,183,020
(f) 分配金	870,568,892	840,411,473	817,837,134	776,391,715	756,880,259	732,735,175
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,758,858,467	4,569,160,697	4,522,380,244	4,296,131,133	4,288,691,635	4,213,447,845
(h) 受益権総口数	79,142,626,616□	76,401,043,059□	74,348,830,367□	70,581,065,016□	68,807,296,306□	66,612,288,716□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	110円	110円	110円	110円	110円	110円
（単 価）	（9, 359円）	（9, 102円）	（8, 457円）	（8, 495円）	（8, 448円）	（8, 343円）

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

**UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデント・エクイティ・
ツイン・アルファ・ファンド**

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデント・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2015年12月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書

2014年11月30日

資産

流動資産

損益通算公正価値金融資産	円 95,739,418,855
現金および現金同等物	1,506,250,979
未収：	
売却済み有価証券	59,994,212
総資産	<u>97,305,664,046</u>

負債

流動負債

損益通算公正価値金融負債	1,568,692,261
未払：	
投資運用会社報酬	466,157,422
管理会社報酬	10,458,007
専門家報酬	5,044,725
保管報酬	2,828,322
名義書換代理報酬	1,522,517
受託会社報酬	1,505,345
総負債	<u>2,056,208,599</u>
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	<u>円 95,249,455,447</u>

包括利益計算書

2013年12月18日（業務開始日）～2014年11月30日

収益

利子収入	円	43, 837
配当収入		3, 388, 429, 252
損益通算公正価値金融資産および負債並びに 外国為替取引による純実現損		(5, 825, 661, 015)
損益通算公正価値金融資産および負債並びに 外国為替換算による評価益（損）の純変動		14, 136, 072, 288
収益合計		<u>11, 698, 884, 362</u>

費用

投資運用会社報酬		466, 157, 422
管理会社報酬		57, 969, 305
取引費用		21, 275, 893
保管報酬		17, 442, 481
名義書換代理報酬		8, 282, 138
受託会社報酬		8, 082, 422
専門家報酬		5, 152, 059
設立費用		3, 926, 014
その他費用		27, 050
費用合計		<u>588, 314, 784</u>
営業利益		<u>11, 110, 569, 578</u>

金融費用

買戻償還可能受益証券保有者への分配		(11, 811, 750, 330)
分配後および税引前損失		(701, 180, 752)
税金		(636, 114, 131)
包括利益合計	円	<u><u>(1, 337, 294, 883)</u></u>

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

投資明細
2014年11月30日

株 数	有価証券の明細	純資産に占める 割合 (%)	公正価値
	普通株 (100. 5%)		
	スイス (100. 5%)		
	自動車部品 (1. 9%)		
24, 762	Georg Fischer AG	1. 9	円 1, 804, 199, 529
	銀行 (8. 8%)		
36, 086	Banque Cantonale Vaudoise	2. 5	2, 355, 910, 085
1, 737, 244	UBS Group AG	3. 9	3, 712, 824, 287
103, 036	Valiant Holding AG	1. 1	1, 074, 385, 280
283, 818	Vontobel Holding AG	1. 3	1, 265, 588, 741
			8, 408, 708, 393
	建設資材 (5. 3%)		
51, 855	Geberit AG	2. 3	2, 150, 051, 423
6, 302	Sika AG	3. 0	2, 855, 184, 784
			5, 005, 236, 207
	化学 (10. 5%)		
32, 221	EMS-Chemie Holding AG	1. 5	1, 422, 893, 095
23, 937	Givaudan SA	5. 3	5, 077, 465, 296
89, 942	Syngenta AG	3. 7	3, 526, 495, 029
			10, 026, 853, 420
	商業サービス (3. 2%)		
11, 857	SGS SA	3. 2	3, 052, 566, 985
	総合金融サービス (3. 3%)		
443, 348	Cembra Money Bank AG	3. 3	3, 104, 697, 697
	電子部品 (1. 2%)		
77, 990	Daetwyler Holding AG	1. 2	1, 125, 928, 024
	エンジニアリング・建設 (7. 3%)		
2, 426, 457	ABB, Ltd.	6. 8	6, 483, 003, 384
73, 142	Implenia AG	0. 5	495, 534, 182
			6, 978, 537, 566
	食品 (9. 1%)		
974, 844	Nestle SA	9. 1	8, 711, 975, 323
	機械工具 (1. 1%)		
12, 468	Schweiter Technologies AG	1. 1	1, 073, 539, 593
	保険 (16. 1%)		
306, 061	Baloise Holding AG	5. 0	4, 757, 857, 654
16, 835	Helvetia Holding AG	1. 0	985, 033, 106
425, 618	Swiss Re AG	4. 6	4, 330, 560, 704
140, 012	Zurich Insurance Group AG	5. 5	5, 222, 341, 008
			15, 295, 792, 472

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

株 数	有価証券の明細	純資産に占める 割合（%）	公正価値
	総合機械（1.3%）		
32,431	Inficon Holding AG	1.3	1,239,413,514
	金属製品（1.9%）		
68,211	Bossard Holding AG	0.9	878,041,016
111,858	SFS Group AG	1.0	943,847,258
			1,821,888,274
	医薬品（19.8%）		
833,458	Novartis AG	10.1	9,599,296,964
260,881	Roche Holding AG	9.7	9,300,045,517
			18,899,342,481
	不動産（1.8%）		
166,977	PSP Swiss Property AG	1.8	1,728,774,980
	通信（5.2%）		
68,044	Swisscom AG	5.2	4,915,887,655
	運輸（2.7%）		
158,873	Kuehne + Nagel International AG	2.7	2,546,076,742
	スイス計		95,739,418,855
	普通株計（費用 81,145,646,967円）		円 95,739,418,855

2014年11月30日時点のファンドレベルの為替先渡契約残高（純資産の0.0%）

買い	カウンターパーティー	契約額	精算日	売り	契約額	評価益	評価（損）	純評価（損）益
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	116,828,813	2014年12月3日	CHF	956,038	円 —	円 (938,877)	円 (938,877)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	126,045,036	2014年12月3日	CHF	1,031,457	—	(1,012,943)	(1,012,943)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	134,115,212	2014年12月3日	CHF	1,097,497	—	(1,077,797)	(1,077,797)
						円 —	円 (3,029,617)	円 (3,029,617)

2014年11月30日時点の売建オプション残高（純資産の-1.65%）

銘柄	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	公正価値
Call - OTC versus	円 121	2014年12月19日	378,000,000	円 (579,967,110)	円 (901,681,996)
Call - TRS Index Option	9,081	2014年12月19日	42,000	(521,957,669)	(663,980,648)
				円 (1,101,924,779)	円 (1,565,662,644)

通貨の略称：

CHF - スイス・フラン

JPY - 日本円

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第22期の決算日（2015年12月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を19～20ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年6月18日から2015年12月17日まで)

買 付			売 付		
銘 柄		金 額	銘 柄		金 額
		千円			千円
540 国庫短期証券	2015/9/24	1,699,999			
555 国庫短期証券	2015/12/7	1,500,000			
557 国庫短期証券	2015/12/14	1,500,000			
541 国庫短期証券	2015/9/28	1,499,998			
563 国庫短期証券	2016/1/18	1,150,000			
100 5年国債 0.3%	2016/9/20	1,103,212			
548 国庫短期証券	2015/11/2	1,000,000			
554 国庫短期証券	2015/11/30	1,000,000			
566 国庫短期証券	2016/2/1	999,999			
567 国庫短期証券	2016/2/8	999,999			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年12月17日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（12,186,116千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年12月17日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 6,335,000	千円 6,337,951	% 51.9	% —	% —	% —	% 51.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年12月17日現在					
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券	336 2年国債	0.1000	185,000	185,014	2016/01/15
	563 国庫短期証券	—	1,150,000	1,150,000	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	500,000	500,088	2016/03/07
	574 国庫短期証券	—	700,000	700,067	2016/03/14
	576 国庫短期証券	—	700,000	700,065	2016/03/22
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,717	2016/09/20
合 計	銘 柄 数	8銘柄			
	金 額		6,335,000	6,337,951	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

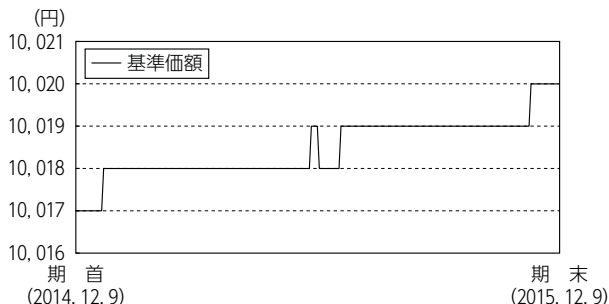
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首) 2014年12月9日	円	%	%
12月末	10,017	—	53.3
2015年1月末	10,018	0.0	72.3
2月末	10,018	0.0	80.5
3月末	10,018	0.0	70.3
4月末	10,018	0.0	59.6
5月末	10,018	0.0	70.6
6月末	10,018	0.0	73.2
7月末	10,019	0.0	69.3
8月末	10,019	0.0	59.4
9月末	10,019	0.0	65.5
10月末	10,019	0.0	51.5
11月末	10,019	0.0	76.0
12月末	10,020	0.0	56.8
(期末) 2015年12月9日	10,020	0.0	52.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,020円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	32,338,160	—
		(32,240,000)	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買		売	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
491 国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998		
540 国庫短期証券 2015/9/24	1,699,999		
555 国庫短期証券 2015/12/7	1,500,000		
557 国庫短期証券 2015/12/14	1,500,000		
541 国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998		
532 国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995		
514 国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968		
521 国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925		
502 国庫短期証券 2015/3/30	1,199,993		
563 国庫短期証券 2016/1/18	1,150,000		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作 成 期	当		期		末		
区 分	額面金額	評価額	組入 比率	うちBB格 以下組入 比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	6,435,000	6,437,978	52.7	—	—	—	52.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

当		期		末	
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	557 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,000	2015/12/14
	336 2年国債	0.1000	185,000	185,022	2016/01/15
	563 国庫短期証券	—	1,150,000	1,150,000	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	500,000	500,097	2016/03/07
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,860	2016/09/20
	合計				
	銘柄数	7銘柄			
	金 額		6,435,000	6,437,978	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,437,978	52.7
コール・ローン等、その他	5,772,311	47.3
投資信託財産総額	12,210,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	12,210,290,310円
コール・ローン等	5,771,514,330
公社債（評価額）	6,437,978,324
未収利息	668,726
前払費用	128,930
(B)負債	—
(C)純資産総額（A－B）	12,210,290,310
元本	12,186,116,869
次期繰越損益金	24,173,441
(D)受益権総口数	12,186,116,869口
1万口当り基準価額（C／D）	10,020円

*期首における元本額は11,884,993,463円、当期中における追加設定元本額は8,064,725,261円、同解約元本額は7,763,601,855円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ26,536,157円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－2,395,687,762円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11－71,870,634円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11 Ver 2－29,945,799円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース10,980,236円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,696,946円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース7,487,022円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,593,631円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハインカム・プラス－インカムチェンジ（積立型）－7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－2,626,169,333円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A)配当等収益	3,173,485円
受取利息	3,173,485
(B)有価証券売買損益	△ 382,400
売買益	1,050
売買損	△ 383,450
(C)当期損益金（A＋B）	2,791,085
(D)前期繰越損益金	20,640,762
(E)解約差損益金	△ 14,198,145
(F)追加信託差損益金	14,939,739
(G)合計（C＋D＋E＋F）	24,173,441
次期繰越損益金（G）	24,173,441

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。